

平岩建設、日本のインフラ分野でデジタルトランスフォーメーションを牽引

デジタル技術、国際的な人材、持続可能な取り組みを積極的に取り入れ、平岩建設は日本の建設業界をよりスマートな未来へと変革している。

By Daniel de Bomford and Arthur Menkes



「デジタルトランスフォーメーション (DX) は当社にとって極めて重要な取り組みであり、生産性の向上に直結します。」

平岩建設株式会社 代表取締役社長 平岩敏和

適応する。その歴史は、経済の浮き沈みや人口動態の変化、自然災害を乗り越えながら、世界でも屈指の複雑な都市環境を支えてきた。

このダイナミックな舞台の中にあるのが平岩建設だ。設計・施工・維持管理を一貫して手がける先進的で革新的なワンストップ企業であり、最先端のテクノロジーと大胆な国際戦略を駆使して、よりスマートで持続可能な建築を実現している。

日本の建設業界は進化を続けている。

1946年に創業した平岩建設は、建設ブームの最盛期に培った歴

史と経験を活かしながら、最新技術を取り入れ、日本のインフラが求める多様に変化するニーズに応えている。平岩敏和氏は、労働人口が減少する中で民間の建設や再開発プロジェクトが増加しており、請負業者の不足が課題となっていると説明する。

建物の老朽化が進むにつれ、既存インフラの維持管理に対する政府からの需要は指数関数的に増加している。平岩建設のような企業は、災害復旧工事も請け負っており、社長は最近発生した道路陥没事故をその重要な業務の一例として挙げている。

「行政との連携は極めて重要ですが、同時に公共と民間の両分野で膨大な業務量を調整する必要があります」と彼は述べる。さらに、ウクライナ情勢などさまざまな経済状況が建設資材の価格を急激に押し上げている。

未来に備えた人材育成

平岩建設は、日本の労働力に影響を及ぼす人手不足の課題に取り組む、社員の定着率と満足度を高め、組織全体の能力向上を図っている。インフレによる経済的負担を和らげるため、給与の引き上げや食事券の支給など、さまざまな待遇改善策を実施してきた。

同時に、現場技術者の業務負担を軽減するため、平岩建設は建設ディレクターを配置し、専門技術が必要としない事務作業の代行や測量などの補助業務を担わせている。

平岩建設の採用方針はスキル重視であり、国籍を問わず専門知識を持つ人材の採用に積極的だ。

「当社はベトナム、ミャンマー、中国、モンゴルなど、さまざまな国から人材を積極的に採用しています」と社長は語る。健康で意欲のあるベテラン社員は、定年後も若手の指導役として勤務を続け、貴重な経験を次世代へと受け継ぐことができる。



Construction director

建設業の未来はデジタルだ

人材施策と並行して、平岩建設はデジタルトランスフォーメーション (DX) を活用し、人手不足への対応と業務の透明性向上を進めている。同社は、インフラを3Dで可視化し、プロジェクトを包括的に把握できるデジタルツール「BIM (ビルディング・インフォメーション・モデリング)」の導入を先駆けて実践している。

「三次元のBIMモデルを活用することで、従来は複数の二次元画面を頭の中で照合しながら何時間もかかっていた作業を、一目で瞬時に行うことが可能になります」と社長は述べている。

BIM導入の成果は極めて大きく、同社の2つのプロジェクトはBIM推進モデルとして認定されている。これらは、単なる模型やプレゼンテーションにとどまらず、プロジェクト全体のプロセスにわたってBIM技術を活用した事例である。

BIMにとどまらず、同社はドローンや3Dマッピング、スキャニング技術も活用している。これらのツールは大規模プロジェクトに不可欠であり、同社だけでなく自治体や地域社会にも大きな利益をもたらしていると社長は述べている。



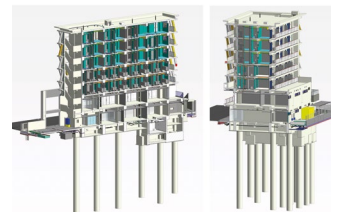
In-house designed building

多角化で実現するグローバルな展望

平岩建設のビジョンは日本国内にとどまらない。ベトナムでは7年間にわたり事業を展開し、同地域の日本企業を支援してきた。為替変動や経済の逆風によって近年は成長が一時的に鈍化したものの、問い合わせや新規プロジェクトが増加するなど、力強い回復の兆しが見えている。

今後を見据え、平岩建設はクリーンルームや精密施設などの先進的な建設技術を、ベトナムへ進出する半導体メーカーなど台湾企業に提供していくことを目指している。

同社はまた、事業ポートフォリオの多角化を図るため、旅館などの日本文化体験やメディカル・ウェルネスサービスといった、建設以外の分野への進出も検討している。



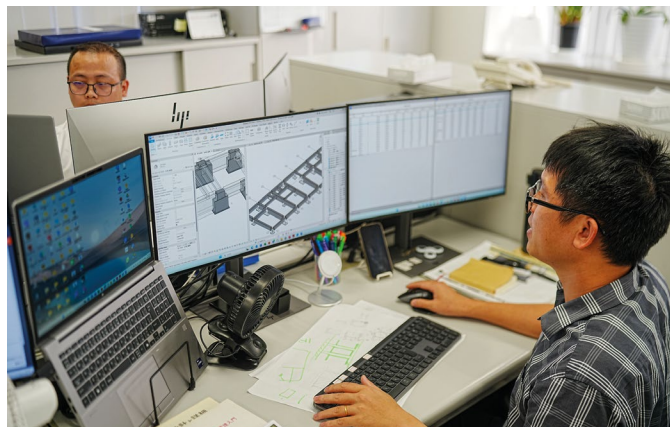
BIM 3D data

平岩建設は、革新とグローバルな視点を融合させながら、常に新たな道を切り開き続けている。日本に深く根を下ろしつつ国際的な事業展開を拡大する同社は、日本の強靱な建設業界を自信をもって新時代へ導く存在となっている。



HIRAIWA

www.hiraiwa.co.jp



Contributions by foreign employees